公益財団法人 日本野鳥の会
Wild Bird Society of Japan

# 探鳥会スタッフ通信

2018年
2月号

「探鳥会スタッフ通信」は、探鳥会の考え方や様々な運営手法について、全国の連携団体の探鳥会リーダーの皆様と情報交換を行うための通信です。

目 次

◆探鳥会訪問記・・・・・・・・・・・・・・・1
・特集・会員を増やすための探鳥会④
◆探鳥会保険集計結果・・・・・・・・・・・16
（2017年12月分）
◆普及室からのお知らせ・・・・・・・・・・18
・締め切り間近です！2018年バードウィーク
「全国一斉探鳥会」の情報をお寄せください
◆今月の購読者数・・・・・・・・・・・・・19
◆探鳥会スタッフ通信の無料配信について・20
◆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・20

## ◆探鳥会訪問記（特集・会員を増やすための探鳥会④）

今月号では、12月2日～16日に7か所で開催された「会員を増やすための探鳥会」（表1）の様子についてご報告いたします。
※全体で8回を企画されている栃木の「会員を増やすための探鳥会」は、すべての探鳥会の終了後にまとめて記事にいたします。

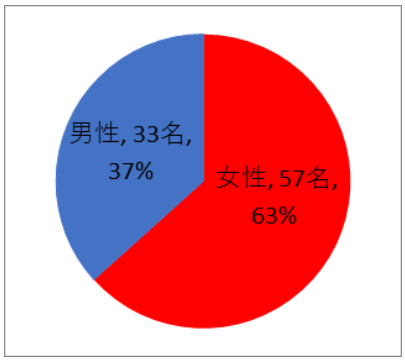
表1.

| 実施日 | 支部 | 実施場所 | |
|---|---|---|---|
| 2017/12/2(土) | 埼玉 | さいたま市 | 大宮公園 |
| | 千葉県 | 松戸市 | 江戸川河川敷 |
| | 奥多摩支部 | 立川市 | 昭和記念公園 |
| 2017/12/3(日) | 大阪支部 | 豊中市 | 服部緑地 |
| 2017/12/10(日) | 茨城県 | 鉾田市 | 涸沼 |
| 2017/12/16(土) | ひょうご | 明石市 | 明石公園 |
| | 京都支部 | 京都市 | 岡崎疏水 |

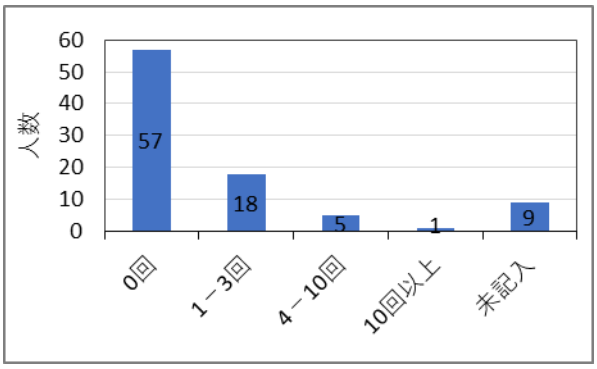
# はじめてみませんか？バードウォッチング（埼玉）

【日程】2017 年 12 月 2 日（土）10 時 00 分～12 時 00 分
【場所】大宮公園（埼玉県さいたま市）
【天候】晴れ
【参加者】90 名（うち一般参加者 80 名）
【リーダー】13 名、財団職員 2 名
【お試し入会】21 名（一般参加者のうち約 23%）
【広報】
＜インターネット＞財団 HP、財団 Facebook
＜メール＞一斉メール送信（10/3～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）
＜新聞＞朝日新聞（10/24）

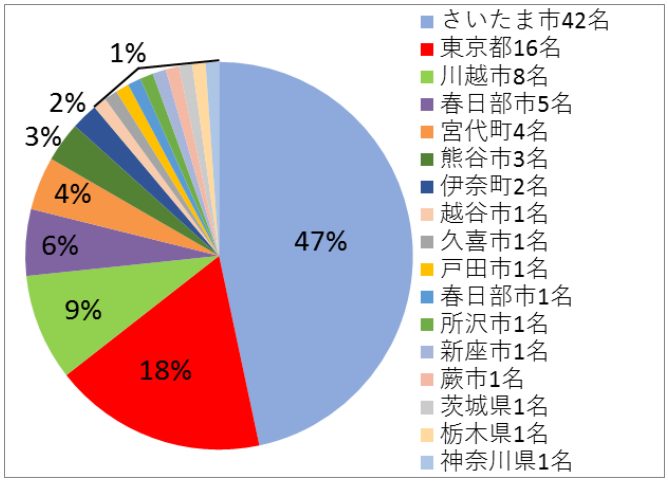
【性別】



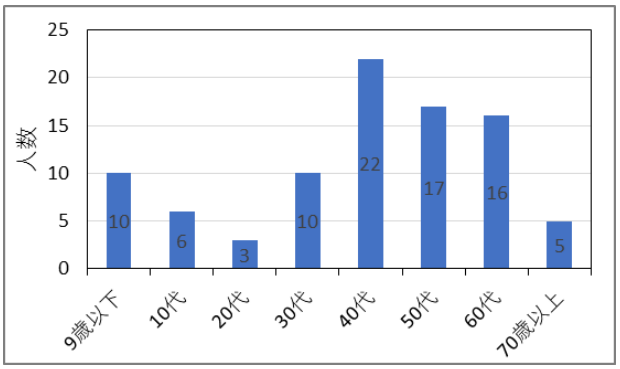

【バードウォッチングの経験回数】



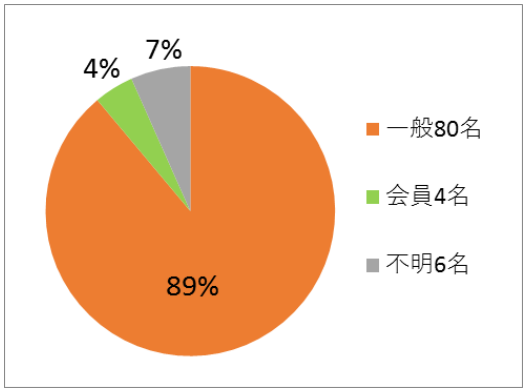

【お住まい】



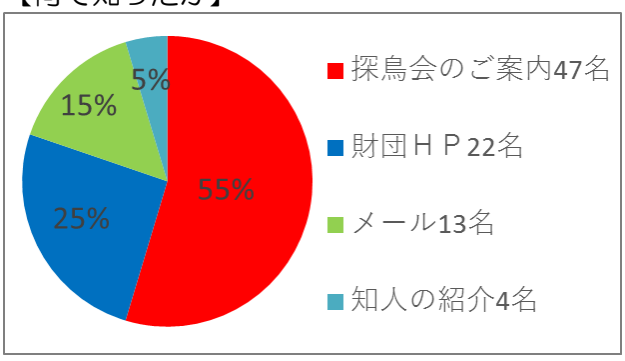

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■参加者は 90 人！

埼玉の会員を増やすための探鳥会は、今年で 4 年目です。1 年目は 13 名、2 年目は 16 名とやや集客に苦しみましたが、3 年目の昨年度は会場を県内でも名前の知れた大宮公園に変えたことにより、60 名と十分な集客ができるようになりました。そうして迎えた 4 年目の今年の探鳥会ですが、大宮公園駅の改札前の広場には、集合時間 30 分前から人が集まりはじめ、15 分前には 60 名を超えていました。結局、今年度の参加者は 90 名。3 年前がウソのように参加人数が増えています。この日のリーダーは 13 名で、リーダー1 人当たり 7 人の参加者を受け持つ計算になります。貸出用の双眼鏡は 30 台用意しましたが足りなくなり、家族やグループに 1 台を貸し出すことにしました。

## ■大人数を対応するときの配慮

「これから探鳥会を始めます！こちらに集まってください！」

リーダーの方が声をかけると、参加者が集まってきました。しかし、最後尾の人までの距離が約 10m 以上もあり、これでは声が届きません。そこで、もう一度

「あと二歩こちらによってください！」

と声をかけて 5～6m まで輪を縮めます。しっかりとこちらの話を聞いてもらえる体制を作ってから、リーダーの方から十分な声量で、冒頭のあいさつや、探鳥会の流れ、注意事項などのオリエンテーションがおこなわれました。

野外では、思いのほか自分の声は届きません。フリーハンドマイクが使えると理想的ですが、なければ今回のようにまずは聴衆の輪を縮めること、そして話すときは顔の向きに注意して大きな声で話すことが重要です。声は横方向には広がりにくいため、大きな声で話しているつもりでも、横を向いたり、下を向いて話すとほとんど声が届かなくなってしまいます。野外での話し方は、ちょっとしたコツでずいぶん聞きやすくなります。予期せぬ大人数の参加者に対して慌てることなく対応されていたのは、さすがに埼玉のリーダーです。

## ■親子連れの班の様子

班分けでは、リーダーのその場の判断で、参加者を「バードウォッチングの経験がある人」、「親子連れ」、「大人の家族やグループ」、「一人で参加した方」の 4 つに班分けしました。この中で私は親子連れの班につきました。親子の班は 20 名を超えており、一つの探鳥会の親子連れの人数としては異例といってもよい数です。子どもは小学生から幼稚園児が中心ですが、中にはベビーカーで参加の方もいます。最近、各地のビギナー向け探鳥会で親子連れの参加が目立っていますが、そのことを象徴するような光景でした。

コースは、池の周囲を回るコースで、カイツブリ、ホシハジロ、カルガモなどの水鳥を近い距離で観察できました。比較的平坦な道ですが、1 か所段差がありベビーカーの参加者にはスタッフが補助しました。また、親子連れの班には、保育士の方がリーダーをされていて、子どもたちに話しかける様子はさすがにプロ。あらかじめ親子連れが多いと予想しての措置だったと思いますが、人材の層が厚い埼玉だからこそできる対応でしょう。また、他にも実物の翼鏡の羽根を子どもたちに見せながら解説したり、歩きながらの何気ない会話で、常に子どもたちとコミュニケーションをとって、興味を引き出したりされていました。

## ■子ども向けのプログラムの必要性

親子連れの班についていて、ひとつ気になったことは、興味が持続する子とそうでない子の差が大きいことです。リーダーの周りには、興味が持続している子どもたちが集まってきますが、その子どもたちに囲まれているとリーダーは興味を失ってしまっている子どもたちの様子に気づくことができません。1 回の探鳥会で、親子連れの参加者が 2～3 組程度なら、1 人のリーダーの対応でカバーできるかもしれませんが、人数が多くなってくると、紙芝居やゲームなど、子どもたちの興味を持続させる工夫の必要性を感じました。

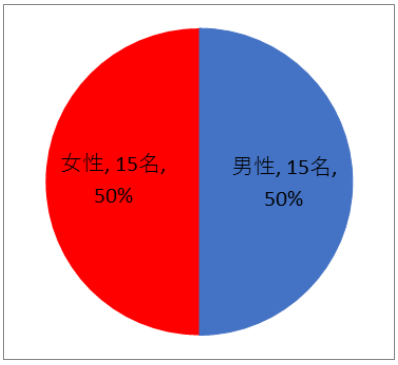
バードウォッチングは光学機器を使った観察が中心になりがちです。しかし年齢が低くなればなるほど、五感を使った観察や視覚的に訴えかける教材の助けが必要なケースが出てきます。近年、小冊子を申し込んでくる方の中に親子連れが増えており、親子連れの参加者が増えることが予想されます。頭ではわかっていたことではありましたが、あらためて子どもに対応できる教材開発の必要性を確信しました。

（普及室／箱田敦只）

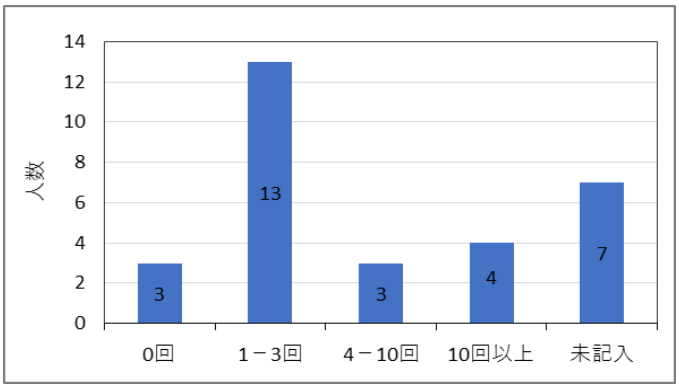
# 江戸川ビギナーズ探鳥会（千葉県）

【日程】2017 年 12 月 2 日（土）9 時 00 分～11 時 30 分
【場所】江戸川河川敷（千葉県松戸市）
【天候】晴れ
【参加者】30 名（うち一般参加者 26 名）
【リーダー】6 名、財団職員 1 名
【お試し入会】6 名（一般参加者のうち約 23%）
【広報】
＜インターネット＞財団 HP、財団 Facebook
＜メール＞一斉メール送信（10/3～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）
＜新聞＞朝日新聞（10/24）
＜市報＞松戸市報（11/15）

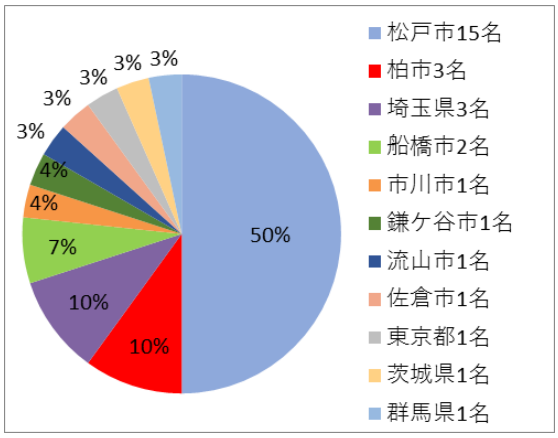
【性別】



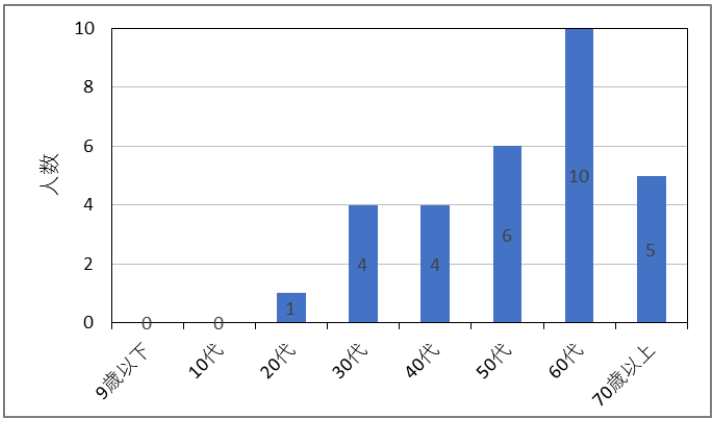

【バードウォッチングの経験回数】



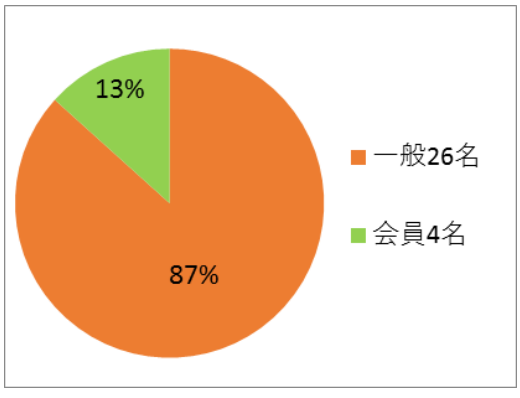

【お住まい】



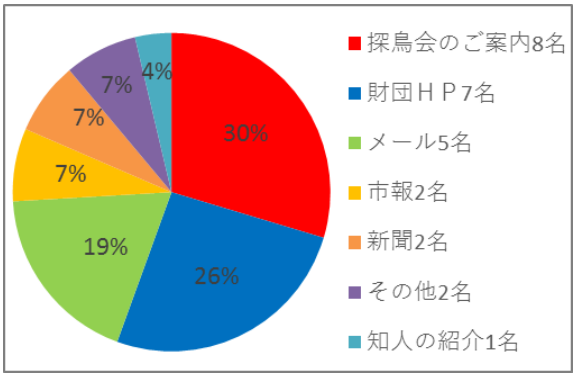

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■概要

千葉県と東京都の境界となる江戸川の千葉県側の河川敷は、日本野鳥の会千葉県の定例探鳥会のフィールドです。河川敷には、ヨシ原、草地、小川などがあり、多くのバードウォッチャーが訪れる探鳥地です。この場所で会員を増やすための探鳥会が開催されるのは、３年ぶりとなります。今回は、JR 松戸駅を出発し、坂川～松戸神社～江戸川河川敷を歩く、約 2.5km のコースでした。

## ■探鳥会の様子

集合場所の松戸駅前の広場には、およそ 30 名の参加者が集まりました。受付・双眼鏡の貸し出しやリーダーからのあいさつなどの後に出発。駅前の繁華街を通り抜け、坂川沿いの歩道を経由し、松戸神社まで移動しました。

松戸神社では、まずトイレに立ち寄りました。境内には大きな木があり、枝の間を動くエナガやメジロなどが観察できました。自分の双眼鏡でメジロ見ていた女性は、

「じっくり見たのは初めて。かわいい！」

と、とても興奮した様子でした。

その後、江戸川へ移動。河川敷に降りて、ヨシ原の間の小路を歩きながら鳥を探しました。ヨシの間からは、ウグイスやアオジの声が聞こえましたが、姿を見つけるのはなかなか難しい状況でした。リーダーのみなさんは、アオサギやカンムリカイツブリなど大型の野鳥を見つけると、それらを時間をかけて観察するようにしていました。

小路を抜けると、河川敷を流れる水路に架かる橋の上に。そこは、視界が開けていて、バンやオオバン、カモ類を望遠鏡でゆっくり観察することができました。その後、ヨシ原沿いを歩き、コースの終着点となる河川敷の広々とした花壇へ。そこでは、尾を振りながらせわしなく歩くタヒバリや、ハクセキレイが見られました。リーダーの方々が鳥を望遠鏡でとらえて声をかけると、参加者の皆さんは、鳥のしぐさを楽しそうに観察していて、とても良い雰囲気で観察の時間が終わりました。

最後は、鳥あわせや支部の活動紹介、お試し入会の説明、お土産の野鳥写真のカードの配布などがありました。支部の紹介では、千葉県では、探鳥会を通して野鳥を楽しむ仲間を増やし、野鳥を守る仲間を増やしたいという説明がありました。

お話をした場所は、風を遮る場所のない、広々とした場所。声が通りにくく、なかなか全員に声が行き渡るのは難しい状況でしたので、メインのリーダーの方がお試し入会の説明をした後に、ほかのリーダーたちが、それぞれに周囲の参加者に声をかけ、支部報を見せて説明をしたり、申込用紙を配ったりしました。そのため、参加者と個別に対応ができ、説明から入会の手続きも自然な流れで進んでいました。

## ■参加者の声

・先週の千葉公園の探鳥会にも参加しました。初心者向けと書いてあったので、参加しやすかったです。

・タヒバリを初めて見ました。丁寧に教えていただき、よく見ることが出来ました。このような鳥がいるとは知らなかったので、また来てみたいと思います。

## ■まとめ

３年前とはコースが変更され、神社での観察が加わりました。リーダーの方によると、小鳥を見る場所としてコースに加えたとのことでした。観察場所に変化ができて参加者を飽きさせず、トイレの機会も増えました。初心者向けに工夫されたコース選びだと思いました。

途中、参加者の方とお話していたところ、その前の週末に千葉公園で開催された「会員を増やすための探鳥会」に参加したという方が３名程おられました。理由を聞いてみると「『探鳥会のご案内』に県内の千葉公園と江戸川の２回の探鳥会が掲載されていたから」「初心者向けで行きやすいと思ったから」「前回も楽しかったから」ということでした。近場で複数の初心者向け探鳥会が開催されると、何度も足を運ぶ参加者がいること、それによって支部の活動をより深く伝える機会が増えることにつながると思いました。

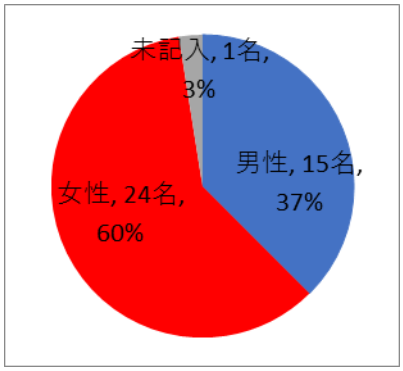
▲終了間際に参加者全員でタヒバリなどを観察し、よい雰囲気でまとめの時間へつながりました。

（普及室／江面康子）

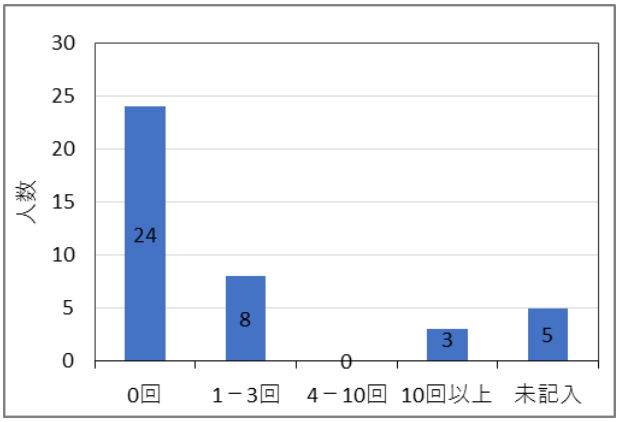
# はじめてみませんか、バードウォッチング in 昭和記念公園（奥多摩支部）

【日程】2017 年 12 月 2 日（土）10 時 00分～12 時 10 分
【場所】国営昭和記念公園（東京都立川市）
【天候】晴れ
【参加者】40 名（一般参加者 39 名）
【リーダー】９名、財団職員３名
【お試し入会】０名
【広報】
　＜メール＞一斉メール送信（11/1 東京都下、神奈川県川崎市、埼玉県 7,859 名に送信）

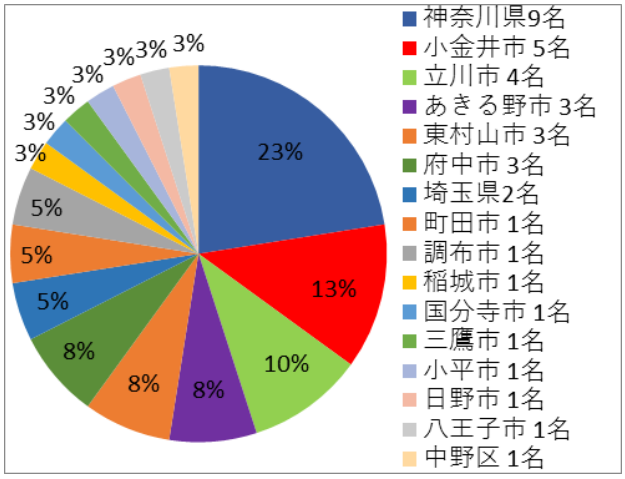
【性別】



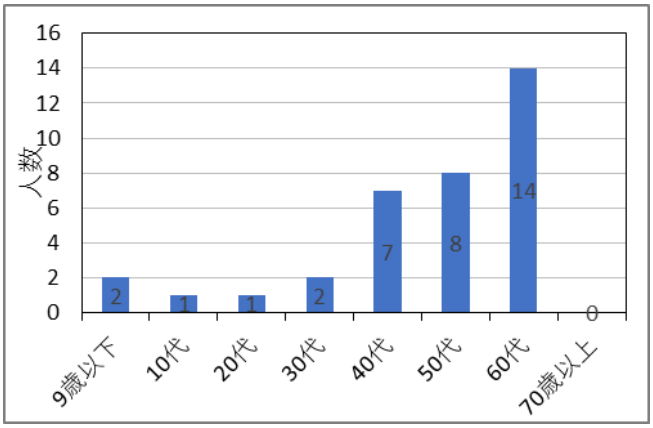

【バードウォッチングの経験回数】



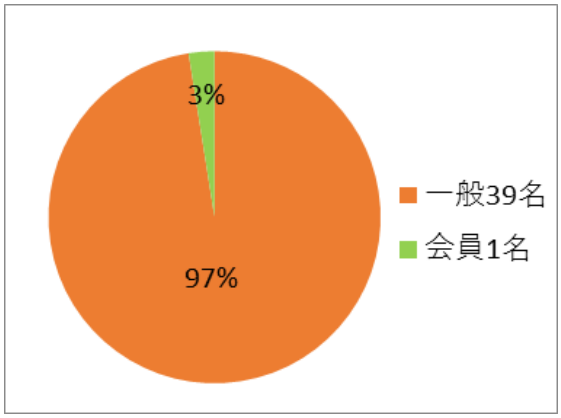

【お住まい】



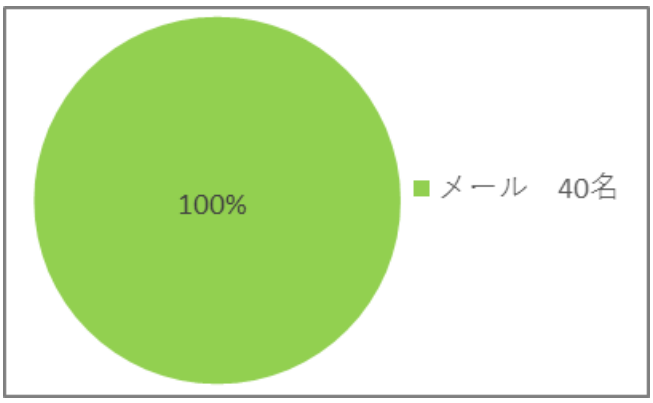

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■探鳥会概要

奥多摩支部・国営昭和記念公園での探鳥会は、毎年「会員を増やすための探鳥会」最大の参加者があり、ここ３年の参加者は、100 名を超えています。今回は初めて「事前申込制」にし、少人数を手厚く対応しようと企画されました。

応募者数をおさえるため、広報は財団からのメール送信のみとしました。当日は、応募者 54 名から抽選で選ばれた 40 名が参加しました。参加者を３班に分け、各班３名のリーダーが案内しました。

## ■探鳥会の様子

リーダーは９時に集合しました。予め参加人数が分かっているので、安心感もある中、スケジュールや役割分担を確認しました。

９時 30 分から受付を開始。受付は、名簿記入、参加費徴収、双眼鏡貸出、資料配布、各班への誘導の順に行いました。探鳥会が始まる前の時間に、各班で双眼鏡の使い方を確認しました。

10 時を過ぎると、全体で開催の挨拶があり、探鳥会がスタートしました。再集合の時間は 11 時 30 分と決められ、それまで班ごとに行動しました。

▲図鑑を使って解説するリーダー

まずは、園内に入ってすぐの池で、水鳥を観察しました。３人のリーダーがカルガモにさっと望遠鏡を合わせます。

「綺麗ですね！良く見えます。」

と参加者に笑顔が広がります。

「カルガモは一年中見られるカモです。嘴の先が黄色いのが特徴です。」

リーダーの説明を聞きながら、カルガモの他、マガモやコガモ、ホシハジロ、カイツブリなどを観察しました。

11 時前、カモを十分観察した後は、林のゾーンに移動しました。小鳥が人気のようで、参加者の期待も高まります。リーダーから

「小鳥は、声に注意して探します。耳を澄ませて歩いてみてください。」

と探すポイントが話され、ヒヨドリやシジュウカラ、メジロの声を聞きながら進みました。林を抜けるとハクセキレイとキセキレイ、続いてモズをじっくり見ることができました。肉眼でも見られる距離でしたので、参加者は場所を確認してから自身の双眼鏡で見たり、またリーダーの望遠鏡で大きく見たりと、じっくり堪能していました。

再集合の場所には、大人数が集まれる芝生の広場が選ばれました。11 時 30 分から、３班揃っての鳥合わせ。紙芝居で鳥の絵も見せながらおこなわれました。途中、近くの木にコゲラがやってきて参加者を見守る中、普及部、研究部、保全部など支部の活動も紹介し、終了となりました。

## ■参加者の声

小学生のお母さん：小学生の息子が鳥好きで、一緒に参加しました。以前、多摩川で開催された探鳥会に参加して、これが２回目です。

40 代女性：イベントに参加するのは初めてです。バードウォッチングのコツを知りたいと思って参加してみました。

40 代ご夫婦：双眼鏡も貸していただき、説明も丁寧で、あっという間の楽しい２時間でした。ありがとうございました。

## ■まとめ

13、４名を３名のリーダーが案内したため、リーダーと参加者が会話も楽しみながら、アットホームな雰囲気で探鳥会が進みました。また事前申込制はリーダーにとっても、運営がしやすかったようです。

今回受付で、参加者に「申込時にいただいたメールアドレスに支部の探鳥会情報を １ 年間お送りしても良いか」を確認しました。支部では今後、参加者に探鳥会の情報をお届けし、紹介した探鳥会には極力今日のリーダーが参加し、優しく対応していくそうです。

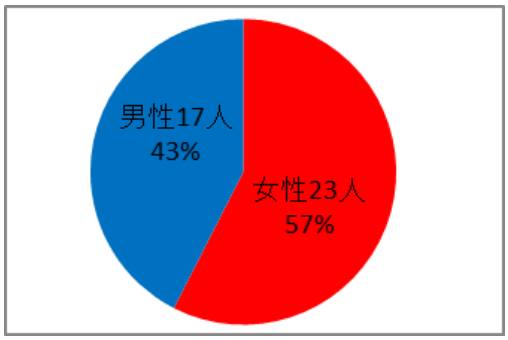
終了後の反省会では、「年明けや春に今日の参加者限定のオリジナル探鳥会を開催しようか」という声もあがっていました。新しい取り組みを始める奥多摩支部に引き続き注目していきたいと思います。

（普及室／堀本理華）

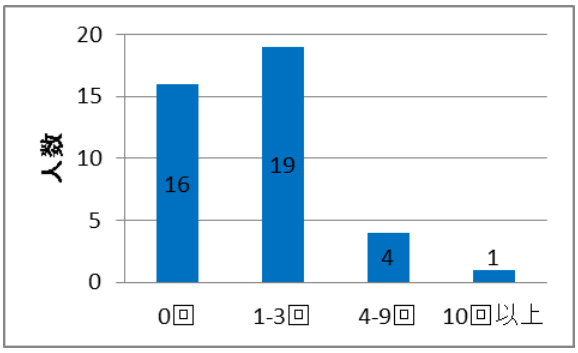
# はじめての鳥見たい（隊）！ in 服部緑地（大阪支部）

【日程】2017 年 12 月 3 日（日）9 時 30 分～12 時 00 分
【場所】服部緑地（大阪府豊中市）
【天候】晴れ
【参加者】40 名（うち一般参加者 36 名）
【リーダー】13 名、財団職員 1 名
【お試し入会】0 名（一般参加者のうち 0%）
【広報】
＜インターネット＞支部 HP、財団 HP、財団 Facebook
＜メール＞一斉メール送信（10/3～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）
＜新聞＞朝日新聞（10/24）

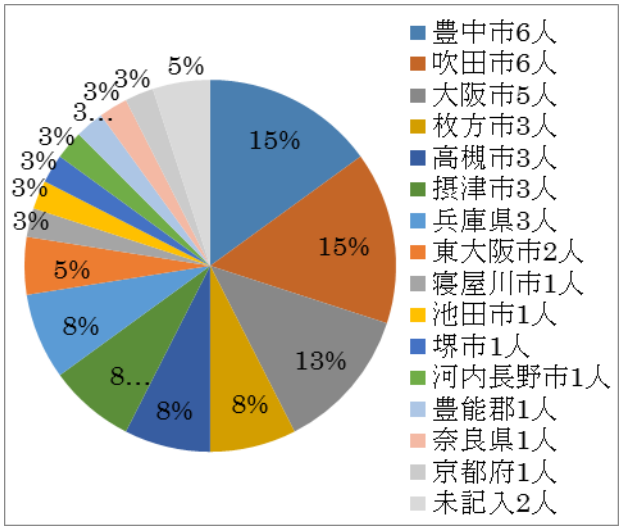
【性別】



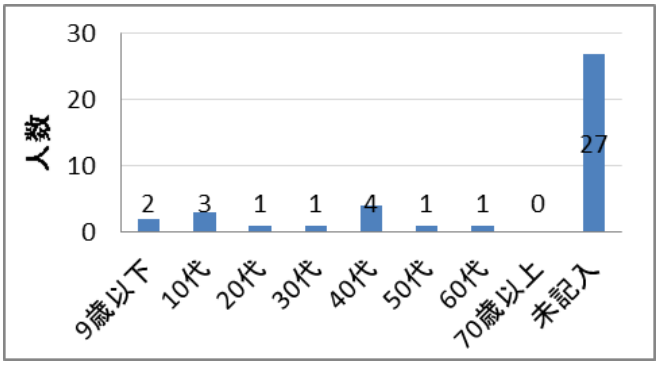

【バードウォッチングの経験回数】



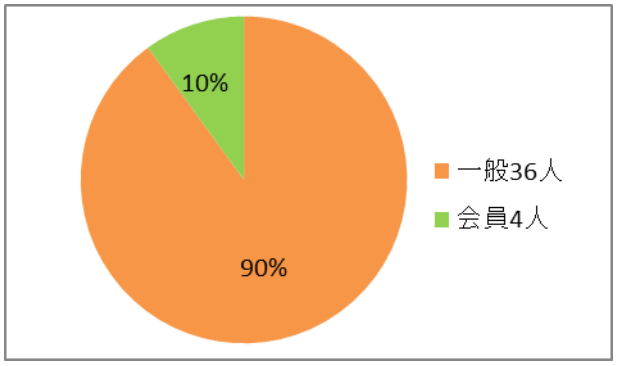

【お住まい】



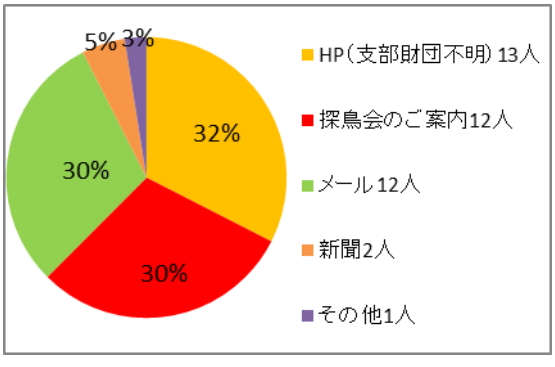

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■探鳥会概要

大阪支部では、支部企画の初心者対象探鳥会「はじめての鳥見たい（隊）！」を年に数回実施されており、秋から冬にかけての数回は「会員を増やすための探鳥会」と位置付けています。

基本的に事前受付制を導入され、詳細な参加者の特徴を把握した上で、参加者の属性に応じたグループ分け、リーダーや資料・貸し出し用双眼鏡の確保などの事前準備を周到に実施されています。毎回多くの市民の参加がありますが、この事前準備が功を奏して大きく混乱することなくスムーズに探鳥会を開始することができています。

今回の開催地・服部緑地は大阪支部の定例探鳥地であり、アクセスが良く起伏の少ない大型都市公園で、初心者向け探鳥会開催地としての条件を不足なく備えた場所です。広報を開始した 10 月初めより順調に申し込みがあり、10 月下旬には 50 名の定員枠を超えたため受付を締め切りました。キャンセルがあったため、当日は 40 名の参加者をリーダー13 名で出迎え、じっくりと水鳥や林の小鳥を観察しました。

## ■探鳥会の様子

穏やかで暖かい日和の中、集合時間 30 分前には受付準備を済ませたリーダーたちが今日の探鳥会の進め方の最終打合せを行います。担当班やコース、最終的な集合時間を丁寧に確認し、参加者を出迎える準備が整いました。

次々とやって来る参加者をにこやかに受付に誘導します。名簿確認、参加費集金、名札・資料渡し、望遠鏡の貸し出しが一本の動線上に設定され、大人数の参加者が集中してもスムーズに受付が進行します。開始時間までの間にもトイレの案内をしたり、所在無げな参加者に話しかけたり、とリーダーたちが心を配ります。

定刻、支部長の挨拶で探鳥会が始まりました。あるリーダーの私物とのことでしたがスピーカー付きマイクが用意されていたので、全ての参加者に声がよく届きます。参加者を５班に分け、それぞれ 2～3 名のリーダーがついて、1 時間 30 分程度は班で行動しました。

集合場所の駅前から公園に至る松並木で各班ともウォーミングアップです。見通しの良い樹林ではコゲラやヤマガラ、カワラヒワなどが良く観察でき、参加者は小鳥たちの姿にくぎ付けです。公園内の池のほとりでは、カモ類やカイツブリ、バンをじっくりと観察する参加者の姿が見られました。

ゴール地点に帰ってきた班ごとに、鳥あわせとまとめをします。同じ体験をした班ごとでの振り返りは参加者とリーダーの一体感を高め、「楽しかった」という満足感と「また参加したい」という次につながる意欲を参加者にもたらしたようです。

「何度か探鳥会に参加してみてください。きっともっと楽しくなります。その時には、ぜひ『むくどり会員』になってくださいね。」

とのリーダーの声かけに

「今度はどこでありますか？」

「また来ます！」

と答える参加者の笑顔が印象的でした。

▲池のほとりから水鳥を観察

## ■参加者の声

30 代女性：子供たちが観察できるように配慮して頂いてありがとうございました。望遠鏡から見たカモの色がきれいで、私がバードウォッチングにはまってしまいました。

70 代女性：鳥を見たいと思って双眼鏡を買ったのに一人ではなかなか観察できませんでした。今日いろいろ教えて頂いてやっと念願がかないました。また参加したいです。

## ■まとめ

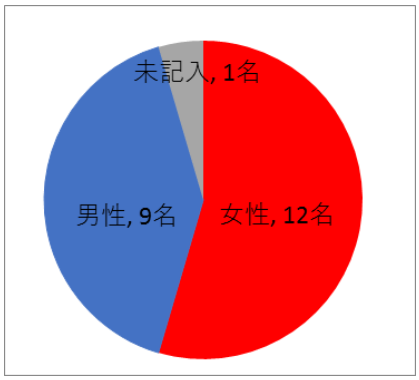
大阪支部では「また探鳥会に参加してもらうこと」を大切にされ、お試し会員（むくどり会員）も、複数回の探鳥会参加を経て獲得されています。最初にリーダー全員で確認した「種数にこだわらず、じっくり観察できるように案内しましょう」との姿勢が着実に成果を上げる鍵だと思いました。

（普及室／浅野綾子）

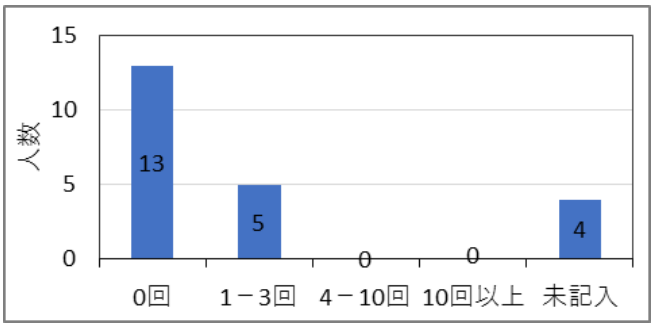
# バードウォッチング入門 in 涸沼（茨城県）

【日程】2017 年 12 月 10 日（日）10 時 15 分～12 時 00 分
【場所】涸沼（茨城県鉾田市）
【天候】晴れ
【参加者】22 名（うち一般参加者 19 名）
【リーダー】３名、財団職員２名
【お試し入会】３名（一般参加者のうち約 16%）
【広報】
＜インターネット＞支部 HP、財団 HP、財団 Facebook／twitter
＜メール＞一斉メール送信（10/３～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞支部作成のチラシ、探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）
＜新聞＞朝日新聞（10/24）

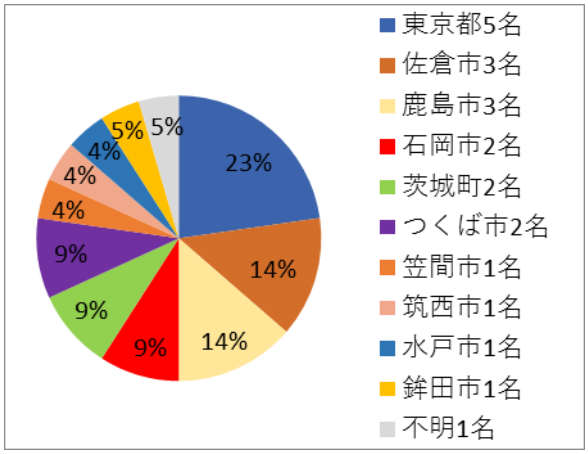
【性別】



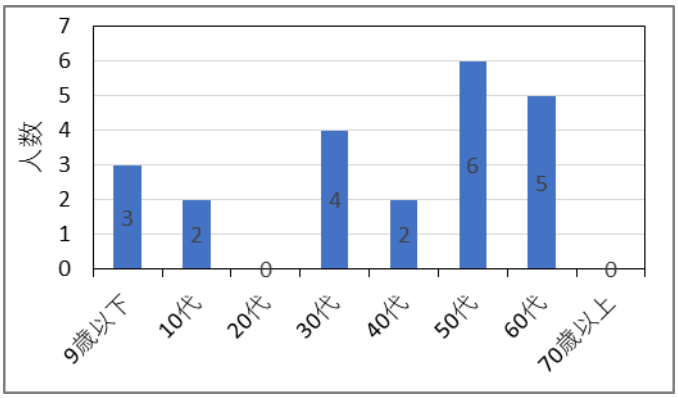

【バードウォッチングの経験回数】



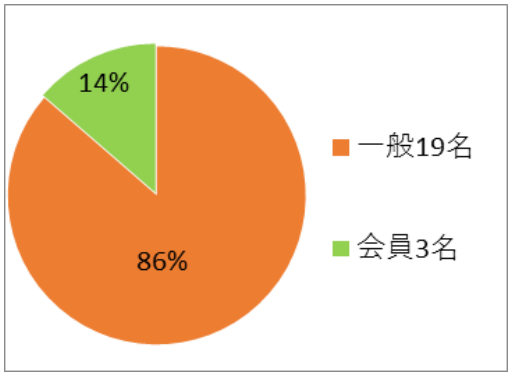

【お住まい】



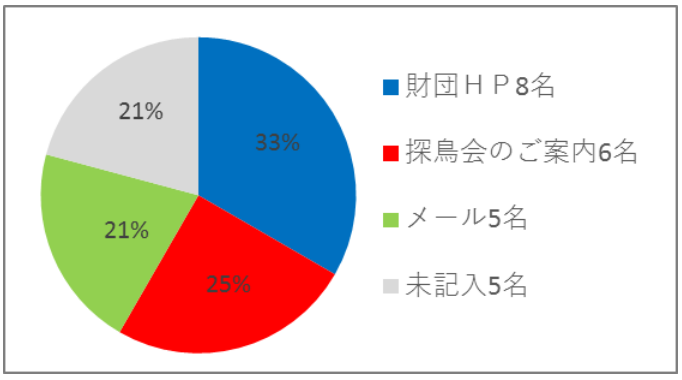

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■探鳥会の概要

日本野鳥の会茨城県がラムサール条約締結地でもある涸沼（ラムサール条約締結）で開催した会員を増やすための探鳥会に参加しました。

当日、空気は冷えていましたが、天候は晴れて日差しが暖かくバードウォッチング日和となりました。

リーダーは計３名が、朝に集合場所の涸沼駅前駐車場で合流。積極的な参加者の方が１名すでに望遠鏡でバードウォッチングを始めていました。

参加者の受付では、参加者プレゼントとしてポストカードと体験入会を袋セットして用意しました。ポストカードは、子ども参加者向けのものも用意しました。

## ■探鳥会の様子

探鳥会では、初めに支部代表の池野さんから駅前で鳥の見方とルートの説明がありました。ものさし鳥の説明は、イラスト付きの紙芝居形式。この日の子ども参加者は積極的で、鳥好きな小学生の男の子１名と兄妹２名の子ども参加者から大きな声で返事が返ってきます。そこで、この３名にイラストを持ってもらい、大人からの受け答えを促す形に。結果、和やかな雰囲気で探鳥会が始まりました。

まずは、双眼鏡の練習。涸沼の駅周辺で電線の上にとまっていたツグミがモデルになりました。

「人がいるのにジッとしているなんてツグミにしては珍しいね。」

▲観察の様子

続けて、立派な古民家と畑が並ぶ細い路地を通り過ぎて稲刈りが終わった水田の道で鳥を探します。南天や柿が植えられている民家の間、細い道の中を通ります。モズ、アカハラ、カシラダカなどの小鳥が見られました。

小道を進むと、開けた稲刈り後の水田にでます。ここで、かなり近い距離でアオサギと遭遇しました。また、上空にカワウの群れが見られ、参加者の間では地元で最近見られる鳥の話題が広がりました。トンビやミサゴといった猛禽類も現れ、参加者は興味津々。

最終地点である涸沼では、さまざまな水鳥を観察することができました。遠くで群れをなしているハジロカイツブリの群れ、カイツブリの群れ、キンクロハジロ、スズガモなどを望遠鏡を使用して観察しました。

また、姿は見えませんでしたが、クイナの鳴き声が草むらから聞こえてきます。そこで、リーダーの池野さんがすかさず鳴き声が出るペンと図鑑でクイナの姿を紹介しました。小学生の男の子はクイナよりもペンが気になっているようでした。

最後は鳥のリストを使って鳥合わせをしました。

▲クイナの鳴き声の紹介

## ■参加者の声

ちょうどクイナを発見したときに、お話を聞いた母娘の親子参加者の方（50 代、30 代）のお話です。

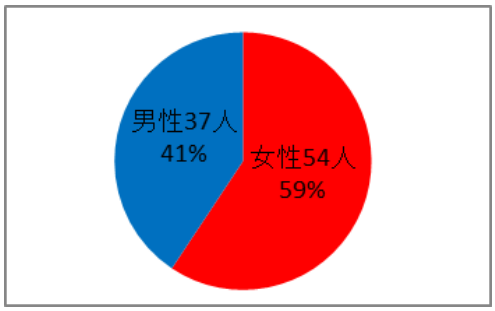
「今日、初めて実物のクイナに会う（鳴き声を聞く）ことができました。実は、好きなアニメ映画作品に一瞬登場する野鳥がクイナということを鳥に詳しい人に聞いたことがあったのですが、本当にいるんですね。」

（普及室／房南都子）

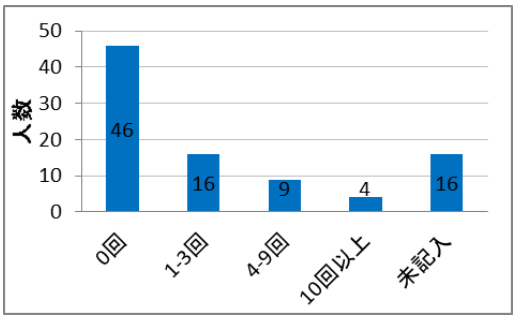
# 初めてのバードウォッチング in 明石公園（ひょうご）

【日程】2017 年 12 月 16 日（土）９時 00 分～11 時 00 分
【場所】明石公園（兵庫県明石市）
【天候】曇り
【参加者】91 名（うち一般参加者 82 名）
【リーダー】11 名、財団職員 1 名
【お試し入会】28 名（一般参加者のうち約 34%）
【広報】
＜インターネット＞財団 HP、財団 Facebook
＜メール＞一斉メール送信（10/３～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）、図書館など明石市内の公共施設にてチラシ配布。
＜新聞＞朝日新聞（10/24）、神戸新聞（12/13）
＜市報＞明石市報（12/1）
【後援】明石市

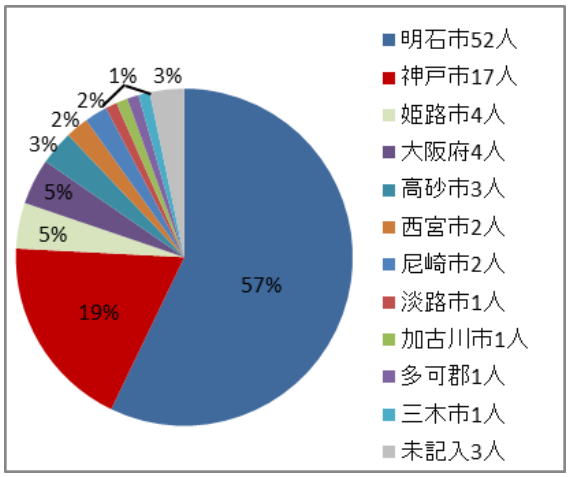
【性別】



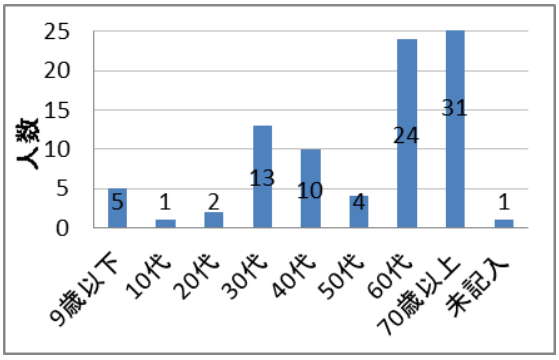

【バードウォッチングの経験回数】



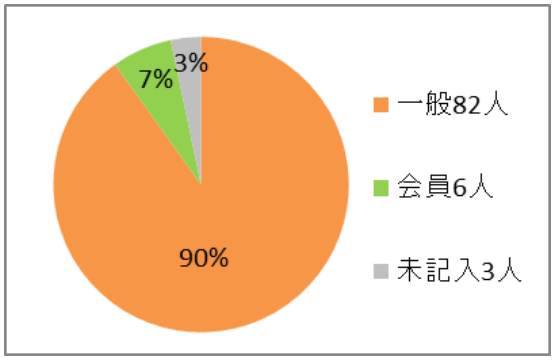

【お住まい】



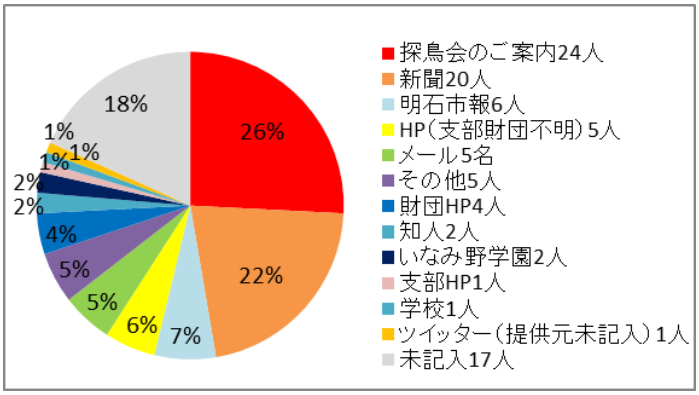

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■探鳥会の概要

会場となった県立明石公園は国指定重要文化財の明石城「巽櫓」「坤櫓」を中心にスポーツ施設なども備え、市民が様々な形で利用しています。駅から近い都市にあって約 54.8 ヘクタールの緑豊かな公園は気軽に足を運べるうえ野鳥も多く、まさに初めてのバードウォッチングの会場としてふさわしい場所だったのではないでしょうか。リーダーの指導の下、約 100 人規模の探鳥会は、終始和やかに目にする野鳥の魅力を存分に楽しんでいただける時間となりました。

## ■探鳥会の様子

当日は午後から下り坂の天気予報。少しお天気を気にしながらの開催です。集合場所の明石公園正面入り口では、11 名のリーダーが待ち構える中、開始 20 分前頃から参加者が訪れ、受付後は準備されたフィールドスコープでお堀のカモを観察したり、早速お試し入会をされたりと、待ち時間から既に活気づいていました。開始時間が近づく頃にはリーダーを探すのに一苦労するほどの人だかり。リーダーや関係者を含めると 100 名を超える集まりになっていました。

そんな賑わいの中、９時になるとマイクを持ったリーダーが登場。行程紹介や支部長挨拶、班わけなどが端的に行われ、開始から 10 分もたたないうちにスムーズに 5 班に分かれ探鳥に出発。お堀のカモ類の観察から始める班やクスノキの大木に集まる小鳥類を観察する班、親子ばかりの班は五感を使った野鳥観察の手ほどきを受けながらのスタートです。それぞれのリーダーが参加者のレベルに合わせ丁寧に対応し、フィールドスコープで確実に野鳥を紹介していきます。カラ類の混郡も近くに現れ、肉眼でも観察できるほどでしたが、さらにスコープを使って至近距離で「さあ、どうぞ」。たちまち野鳥のかわいさ、美しさに感嘆の声があがります。

さらに、オオタカやカワセミを観察できる場所へ。上空をかすめるオオタカ、石垣から水面にのびた小枝に止まったカワセミをみせてもらった参加者はリーダーの観察眼、スコープを合わせる速さに驚き、
「来てよかった！」
と大満足の様子でした。

それぞれのルートで観察を行っていた各班も最後に広場で全員集合して鳥合せ。受付の際にもらった野鳥リストを片手に、うなずいたり、「そうそう」と感想を呟きながらチェックされたりしている様子は、充実した時間を過ごされたことの表れ。心配していた天気も崩れることなく、参加者の満足した笑顔とともに穏やかに終了時間を迎えることが出来ました。

▲鳥合わせの様子

## ■参加者の声

50 代女性：日本野鳥の会のツバメの巣の報告に参加している。ツバメだけでなくいろいろな鳥に広げていきたい。今日はとにかく楽しい！

20 代女性：中学生の頃から鳥好き。最近支部の探鳥会に参加したのがきっかけで本格的に鳥見をしている。一人ではわからない鳥もすぐに教えてもらえてうれしい。

70 代男性：いつもはテニスで利用しているが、たまには鳥を教えてもらえたらとおもって参加した。野鳥は癒されるしかわいい。来てよかった。

小学４年生男児：夏休みに明石の野鳥のを自由研究でまとめたのがきっかけで鳥好きに。これからもいろいろ知りたい。

## ■まとめ

探鳥会中、散歩の方から「チラシで見たよ」と声をかけられる事しばしば。広報が行き届いていたことがうかがえ、まだまだ参加者層が広がる予感がしました。

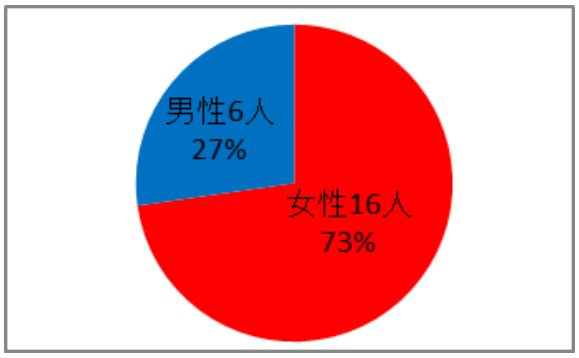
入会案内は班活動の合間を見て担当者が「ちょっと CM♪」と小道具を使って手短にアナウンス。ちょっと緊張気味だった参加者のブレイクタイムにもなるような仕掛けで効果はてきめんだったようです。お試し入会された 28 名の方々の今後が楽しみです。

（施設運営支援室／大津賀真紀子）

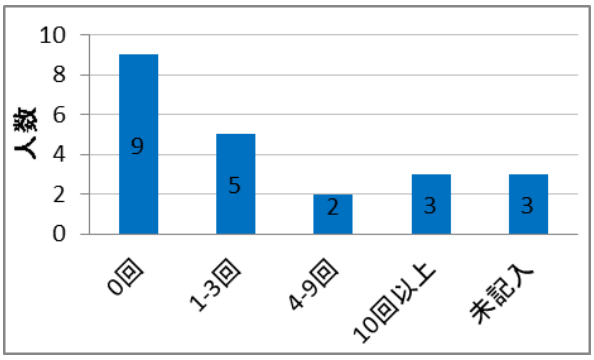
# 初めてのバードウォッチング @ 岡崎疏水（京都）

【日程】2017 年 12 月 16 日（土）9 時 00 分～12 時 00 分
【場所】岡崎疏水沿い（京都府京都市）
【参加者】22 名（うち一般参加者 21 名）
【リーダー】8 名、財団職員 1 名
【お試し入会者】4 名（一般参加者のうち約 19%）
【広報】
＜インターネット＞支部 HP、財団 HP、財団 Facebook、「kyotopi」（12/1）
＜メール＞一斉メール送信（10/3～6、全国 51,602 名に送信）
＜チラシ＞探鳥会のご案内（10 月初旬から全国約 80,000 名に送付）
＜新聞＞朝日新聞（10/24）、京都新聞（12/14）

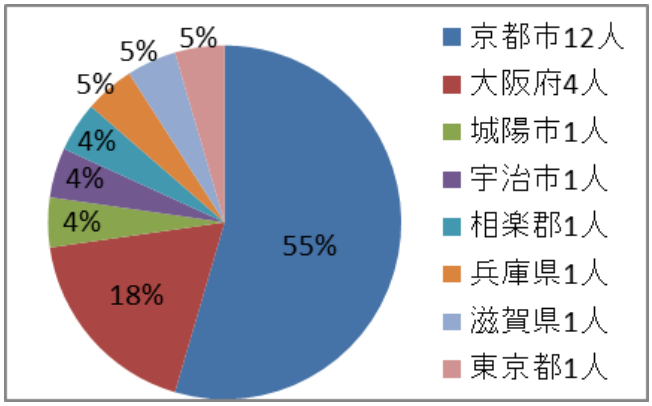
【性別】



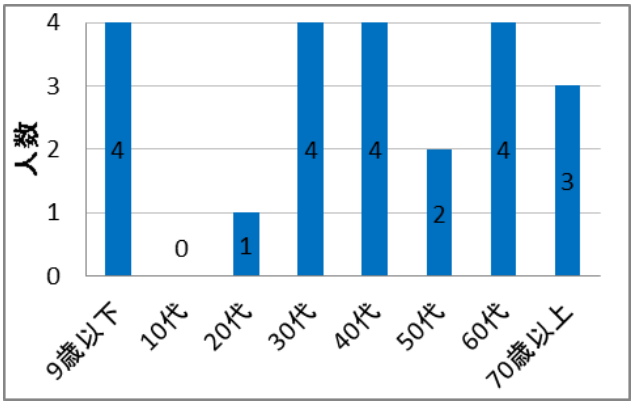

【バードウォッチングの経験回数】



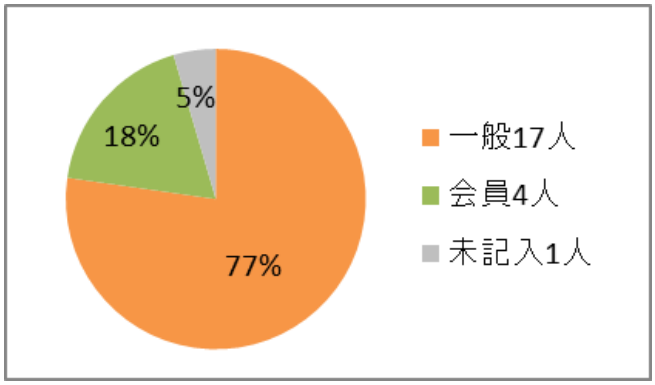

【お住まい】



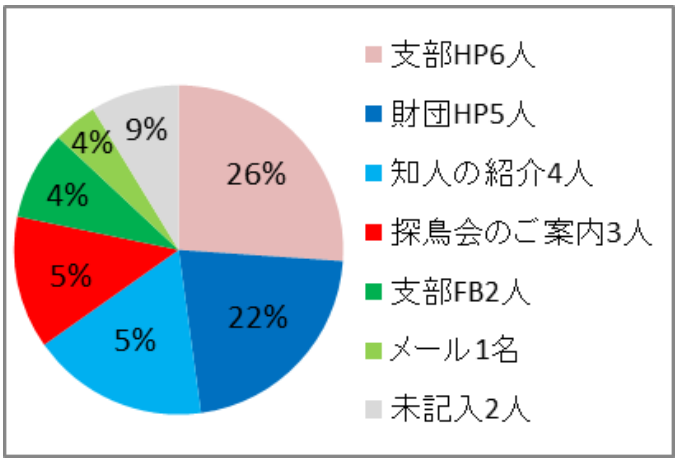

【年齢構成】




【一般/会員】




【何で知ったか】



## ■探鳥会概要

京都支部今年度 2 回目の会員を増やすための探鳥会は、京都市営地下鉄蹴上（けあげ）駅からゴールの夷川（えびすがわ）発電所までの岡崎疏水沿い約 2km のコースで開催されました。疏水沿岸は南禅寺や平安神宮、美術館や動物園が立ち並び、当日も多くの市民や観光客でにぎわっていました。疏水際に広い歩道が整備され、双眼鏡を使わなくても水鳥を間近で観察できる初心者向け探鳥会に適したコースです。

今回の探鳥会の広報は、毎回集客効果が高い「リビング京都」紙での掲載が無いなど、新聞・ミニコミ紙での取り扱いが通常より少なかったものの、「探鳥会のご案内」ダイレクトメールとインターネット媒体をご覧になった方を中心に 22 名のご参加がありました。

## ■探鳥会の様子

集合場所の蹴上駅改札前に続々と参加者がやってきます。あまり広い場所でないため他の駅利用者の妨げにならないように、リーダーが受付を済ませた参加者に

「通路が狭いので探鳥会参加の方はこちらでお待ちください。」

と声を掛けます。

集合場所での混乱を避けるため双眼鏡の貸し出しや詳しい説明は徒歩 10 分ほど離れた琵琶湖疏水記念館に場所を移して行うことを参加者に伝えて、集合定刻前 8 時 55 分頃に受付済みの参加者グループを先に誘導します。念のため 9 時過ぎに地下鉄利用の参加者がいないか確認して、残りの参加者を誘導します。集合場所が探鳥会開催場所と離れている場合には欠かせない配慮だと思いました。

琵琶湖疏水記念館前では、行程説明のあと、双眼鏡の使い方の練習を兼ねて船溜まりに浮かぶヒドリガモやオオバンなどの水鳥をじっくり観察しました。初めて触れる双眼鏡に戸惑っていた参加者も、丁寧に使い方を教わって自信がついたもよう。

「自分で初めて鳥を双眼鏡で見つけられた！」

と、熱心に観察を始めます。

「望遠鏡で見るともっと大きく見られますよ。遠慮しないで、さあどうぞ。」

とのリーダーの言葉に、かわるがわるスコープを覗いた参加者から感嘆の声が上がります。

十分なウォーミングアップのおかげで、疏水沿いを歩き始めると参加者は自力でどんどん鳥を観察しています。ゴールの夷川発電所に至るまで、樹上にとまるカラスやじっと動かないアオサギ、ヒヨドリ、流れに浮かぶホシハジロ、ヨシガモなどが観察できました。

リーダーは、参加者が気づいていない鳥にわざわざ注意を向けるのではなく、参加者が興味を示している鳥にスコープを合わせて観察を深められるよう配慮したり、図鑑と実物を見比べて観察のポイントを伝えたり、と経験の浅い参加者に寄り添った案内をされていました。

最後に支部活動の紹介とともにお試し会員の案内をされ、4 名の入会がありました。

「今日は入会しないけどまた参加してもいいですか。」

と聞いてくださる方もあり、次の興味に繋ぐことができた探鳥会になりました。

▲「ママ、動物園のおサルもよく見えるよ！」

## ■参加者の声

60 代男性：自宅のベランダにたくさんの野鳥がやってくることに気づいて興味がわきました。バードウォッチングは楽しいですね。

20 代女性：以前から興味がありましたが、タイミングが合わず参加できずにいました。お試し入会してもっと楽しみたいです。

## ■まとめ

初心者の目線に立った丁寧な対応が「また参加したい」との思いを引き出せたようです。初心者向け探鳥会に複数回参加している方をお試し入会に勧誘する仕掛けを作ることが今後の課題であると感じました。

（普及室／浅野綾子）

## ◆探鳥会保険集計結果（2017 年 12 月分）

12 月は 66 支部からご報告をいただき、計 282 回の探鳥会が開催され、のべ 7,428 人が参加されました。

表 2. 12 月の探鳥会保険集計結果（2018 年 1 月 15 日現在）

| 支部 | 開催回数（回） | 参加者数 | | スタッフ数（人） | 合計人数（人） |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 会員（人） | 非会員（人） | | |
| オホーツク支部 | 1 | 23 | 5 | 1 | 29 |
| 根室支部 | − | − | − | − | − |
| 釧路支部 | − | − | − | − | − |
| 十勝支部 | − | − | − | − | − |
| 旭川支部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 滝川支部 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 道北支部 | − | − | − | − | − |
| 江別支部 | − | − | − | − | − |
| 札幌支部 | 3 | 115 | 75 | 15 | 205 |
| 小樽支部 | 2 | 4 | 4 | 2 | 10 |
| 苫小牧支部 | − | − | − | − | − |
| 室蘭支部 | 1 | 14 | 6 | 3 | 23 |
| 函館支部 | − | − | − | − | − |
| 道南桧山 | 1 | 9 | 8 | 2 | 19 |
| 青森県支部 | − | − | − | − | − |
| 弘前支部 | 2 | 18 | 0 | 2 | 20 |
| 秋田県支部 | 3 | 24 | 1 | 3 | 28 |
| 山形県支部 | 1 | 1 | 6 | 2 | 9 |
| 宮古支部 | − | − | − | − | − |
| もりおか | 1 | 17 | 5 | 5 | 27 |
| 北上支部 | 1 | 8 | 0 | 2 | 10 |
| 宮城県支部 | 4 | 66 | 29 | 8 | 103 |
| ふくしま | 2 | 57 | 0 | 4 | 61 |
| 郡山支部 | 3 | 58 | 3 | 8 | 69 |
| 二本松 | − | − | − | − | − |
| 白河支部 | − | − | − | − | − |
| 会津支部 | − | − | − | − | − |
| 奥会津連合 | − | − | − | − | − |
| いわき支部 | 1 | 23 | 4 | 1 | 28 |
| 福島県相双支部 | − | − | − | − | − |
| 南相馬 | − | − | − | − | − |
| 茨城県 | 10 | 104 | 37 | 17 | 158 |
| 栃木 | 16 | 257 | 65 | 54 | 376 |
| 群馬 | 7 | 82 | 61 | 28 | 171 |
| 吾妻 | 1 | 19 | 0 | 2 | 21 |
| 埼玉 | 13 | 408 | 100 | 90 | 598 |
| 千葉県 | 11 | 131 | 66 | 49 | 246 |
| 東京 | 15 | 609 | 19 | 73 | 701 |
| 奥多摩支部 | 12 | 209 | 51 | 52 | 312 |
| 神奈川支部 | 16 | 313 | 51 | 50 | 414 |
| 新潟県 | − | − | − | − | − |
| 佐渡支部 | − | − | − | − | − |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 富山 | 2 | 46 | 55 | 7 | 108 |
| 石川 | 2 | 29 | 16 | 5 | 50 |
| 福井県 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 長野支部 | 1 | 7 | 1 | 1 | 9 |
| 軽井沢支部 | 1 | 7 | 2 | 1 | 10 |
| 諏訪支部 | 2 | 9 | 17 | 7 | 33 |
| 木曽支部 | - | - | - | - | - |
| 伊那谷支部 | - | - | - | - | - |
| 甲府支部 | 2 | 40 | 6 | 4 | 50 |
| 富士山麓支部 | 1 | 4 | 1 | 2 | 7 |
| 東富士 | - | - | - | - | - |
| 沼津支部 | 1 | 8 | 6 | 2 | 16 |
| 南富士支部 | 2 | 61 | 11 | 3 | 75 |
| 南伊豆 | 1 | 16 | 0 | 2 | 18 |
| 静岡支部 | 2 | 20 | 5 | 4 | 29 |
| 遠江 | 2 | 53 | 13 | 6 | 72 |
| 愛知県支部 | 15 | 202 | 142 | 39 | 383 |
| 岐阜 | - | - | - | - | - |
| 三重 | 3 | 24 | 11 | 6 | 41 |
| 奈良支部 | 3 | 82 | 6 | 6 | 94 |
| 和歌山県支部 | 1 | 6 | 0 | 1 | 7 |
| 滋賀 | 7 | 56 | 77 | 20 | 153 |
| 京都支部 | 10 | 167 | 42 | 33 | 242 |
| 大阪支部 | 23 | 449 | 115 | 103 | 667 |
| ひょうご | 10 | 132 | 113 | 27 | 272 |
| NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 | 3 | 33 | 4 | 3 | 40 |
| 島根県支部 | 3 | 20 | 10 | 3 | 33 |
| 岡山県支部 | 5 | 109 | 67 | 15 | 191 |
| 広島県支部 | 4 | 61 | 33 | 6 | 100 |
| 山口県支部 | 3 | 23 | 16 | 3 | 42 |
| 香川県支部 | 3 | 54 | 61 | 4 | 119 |
| 徳島県支部 | 5 | 72 | 10 | 5 | 87 |
| 高知支部 | 1 | 11 | 12 | 1 | 24 |
| 愛媛 | 5 | 64 | 51 | 8 | 123 |
| 北九州支部 | 4 | 49 | 1 | 4 | 54 |
| 福岡支部 | 7 | 117 | 33 | 17 | 167 |
| 筑豊支部 | 2 | 31 | 5 | 2 | 38 |
| 筑後支部 | 4 | 39 | 11 | 10 | 60 |
| 佐賀県支部 | 4 | 66 | 18 | 6 | 90 |
| 長崎県支部 | - | - | - | - | - |
| 熊本県支部 | 4 | 86 | 24 | 9 | 119 |
| 大分県支部 | 1 | 20 | 9 | 1 | 30 |
| 宮崎県支部 | 3 | 30 | 6 | 3 | 39 |
| 鹿児島 | 3 | 52 | 35 | 11 | 98 |
| やんばる支部 | - | - | - | - | - |
| 石垣島支部 | - | - | - | - | - |
| 西表支部 | - | - | - | - | - |
| 全国 | 282 | 4924 | 1641 | 863 | 7428 |

備考：-は保険の申請がなかったことを示しています。

（普及室）

## ◆普及室からのお知らせ

### ■締め切り間近です！<br>2018 年バードウィーク「全国一斉探鳥会」の情報をお寄せください■

今年も、バードウィーク期間の日曜日（2018 年 5 月 13 日）を「全国一斉探鳥会」として広報し、一般の方に野鳥や自然に関心を持っていただく機会にしたいと考えています。

各支部事務局宛に探鳥会スタッフ通信 1 月号に同封して、探鳥会情報のご提供をお願いする書類をお送りしました。

広報を希望する探鳥会がございましたら、2 月 18 日（日）までに、Email または FAX、郵送で財団普及室までお知らせください。

とりまとめた探鳥会の情報は、ホームページやパンフレット「探鳥会のご案内」、メール送信等で広報し、特に会員でない方に参加を呼びかけます。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【お願い】

探鳥会のご案内パンフレットは、紙面の都合上、掲載できる探鳥会に限りがございます。各支部で複数の探鳥会情報をご提出いただける場合は、必ず掲載の優先順位もお知らせください。

表３．記入例

| | |
|---|---|
| 開催日 | 2018 年 5 月 13 日（日） |
| タイトル | 『多摩川からはじめよう！エコライフの一歩』 |
| 都道府県 | 東京都 |
| 開催場所 | 多摩川（聖蹟桜ヶ丘駅～交通公園） |
| 所在 | 多摩市関戸 |
| 交通 | 新宿から京王線・準特急で約 30 分 |
| 野鳥 | シジュウカラ、コゲラ、ヒヨドリ、カワセミなど |
| PR | 水辺の鳥、草原の鳥を身近に楽しむことができます。野鳥の子育てシーンを観察できるかもしれません。 |
| 主催 | 日本野鳥の会●● |
| 参加費 | 200 円 （日本野鳥の会会員は無料） |
| 集合時間・場所 | 10:00 ／ 京王線聖蹟桜ヶ丘西口 |
| 解散時間・場所 | 13:00 ／ 交通公園 |
| 持ち物 | 筆記用具、雨具、お弁当、あれば双眼鏡・図鑑 |
| 申込み | （事前申込みの有無。有の場合は以下もお書きください） 事前申込み不要<br>申し込み先：<br>締切日： |
| 備考 | （雨天時について）雨天中止 |

【送付先】

Email：tancho-staff@wbsj.org

FAX：03-5436-2635

住所：〒141-0031　東京都品川区西五反田 3-9-23　丸和ビル

（公財）日本野鳥の会　普及室　普及教育グループ　井上・関

【締切】

2 月 18 日（日）

## ◆今月の購読者

探鳥会スタッフ通信２月号の電子メール版の購読者数は、先月より 15 名増えて 836 名です。各支部の購読者数は、「財団からの配信者数」と「支部からの転送による配信者数」の合計です。

表４．探鳥会スタッフ通信２月号電子メール版の購読者数（2018 年２月 14 日現在）

| 支部 | 購読者数 |
|---|---|
| オホーツク支部 | 6 |
| 根室支部 | 0 |
| 釧路支部 | 2 |
| 十勝支部 | 1 |
| 旭川支部 | 3 |
| 滝川支部 | 1 |
| 道北支部 | 1 |
| 江別支部 | 0 |
| 札幌支部 | 4 |
| 小樽支部 | 3 |
| 苫小牧支部 | 2 |
| 室蘭支部 | 5 |
| 函館支部 | 0 |
| 道南桧山 | 1 |
| 青森県支部 | 1 |
| 弘前支部 | 5 |
| 秋田県支部 | 3 |
| 山形県支部 | 4 |
| 宮古支部 | 1 |
| もりおか | 4 |
| 北上支部 | 2 |
| 宮城県支部 | 39 |
| ふくしま | 4 |
| 郡山支部 | 1 |
| 二本松 | 1 |
| 白河支部 | 2 |
| 会津支部 | 2 |
| 奥会津連合 | 0 |
| いわき支部 | 1 |
| 福島県相双支部 | 0 |
| 南相馬 | 0 |
| 茨城県 | 22 |
| 栃木 | 59 |
| 群馬 | 24 |
| 吾妻 | 1 |
| 埼玉 | 38 |
| 千葉県 | 21 |
| 東京 | 66 |
| 奥多摩支部 | 48 |
| 神奈川支部 | 25 |
| 新潟県 | 2 |
| 佐渡支部 | 1 |
| 富山 | 3 |
| 石川 | 29 |
| 福井県 | 10 |
| 長野支部 | 1 |
| 軽井沢支部 | 1 |
| 諏訪 | 7 |
| 木曽支部 | 1 |
| 伊那谷支部 | 1 |
| 甲府支部 | 4 |
| 富士山麓支部 | 0 |
| 東富士 | 0 |
| 沼津支部 | 3 |
| 南富士支部 | 3 |
| 南伊豆 | 2 |
| 静岡支部 | 2 |
| 遠江 | 9 |
| 愛知県支部 | 44 |
| 岐阜 | 5 |
| 三重 | 19 |
| 奈良支部 | 3 |
| 和歌山県支部 | 5 |
| 滋賀 | 20 |
| 京都支部 | 30 |
| 大阪支部 | 26 |
| ひょうご | 16 |
| NPO法人日本野鳥の会鳥取県支部 | 10 |
| 島根県支部 | 13 |
| 岡山県支部 | 28 |
| 広島県支部 | 9 |
| 山口県支部 | 16 |
| 香川県支部 | 6 |
| 徳島県支部 | 6 |
| 高知支部 | 1 |
| 愛媛 | 15 |
| 北九州 | 11 |
| 福岡支部 | 12 |
| 筑豊支部 | 21 |
| 筑後支部 | 5 |
| 佐賀県支部 | 5 |
| 長崎県支部 | 1 |
| 熊本県支部 | 14 |
| 大分県支部 | 4 |
| 宮崎県支部 | 4 |
| 鹿児島 | 3 |
| やんばる支部 | 0 |
| 石垣島支部 | 1 |
| 西表支部 | 1 |
| 合計 | 836 |

（普及室）

## ◆探鳥会スタッフ通信（電子メール版）の無料配信について

探鳥会スタッフ通信は、支部の探鳥会スタッフならどなたでも受信できます。（無料です）

ご希望の方は、「探鳥会スタッフ通信希望」と明記のうえ、①支部名 ②担当している探鳥会名 ③お名前 ④ご住所 ⑤電話番号 ⑥メールアドレス（パソコンやスマートフォンのアドレス）を記入し、tancho-staff@wbsj.org へお申し込みください。バックナンバーとともにメール版を送信いたします。

配信を希望されない、メールアドレスの変更などについても、tancho-staff@wbsj.org までお知らせください。

## ★編集後記

こちらはやっと、少し暖かいかな？と感じる日が増えてきました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか？

今年度の「探鳥会リーダーズフォーラム」は無事に終了し、「会員を増やすための探鳥会」も残すところあと少しとなりました。この通信での「会員を増やすための探鳥会」の報告は、４月号まで続く予定となっておりますので、ぜひお見逃しなく！

５月 13 日（日）のバードウィーク全国一斉探鳥会につきまして、情報のご提供の締め切り日が２月 18 日（日）となっております。ぎりぎりでのお願いとなってしまいますが、情報のご提供をお待ちいたしております。

（普及室／井上奈津美）

日本野鳥の会
探鳥会スタッフ通信 第 59 号
◆発行
（公財）日本野鳥の会　2018 年２月 16 日
◆担当
普及室　普及教育グループ
〒141-0031
東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル
TEL：03-5436-2622
FAX：03-5436-2635
E-mail：tancho-staff@wbsj.org